



認知症フォーラム in 熊本 2012

フォーラム2日目 **テーマ** 医療

2012年 1月14日(土)

時間 10:25～(開場10:00)
会場 ホテル熊本テルサ テルサホール
料金 無料
定員 700名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
主催 熊本県
後援 厚生労働省(予定)

新たな認知症対策の取り組みを熊本から全国へ。
これまでの取り組みの成果などを発信するとともに、
全国で実践的な取り組みを行っている皆様を本県にお招きしフォーラムを開催します。
「認知症の方を地域で支える」をテーマに、認知症医療分野のプロフェッショナルたちと、
これからの認知症対策について考えます。

理想のカタチ、
先進の「熊本モデル」
認知症になっても
安心して暮らせる地域づくりへ。



特別講演

「認知症が拓く新時代 ～共生をめざして～」

「ETVワイドともに生きる」「福祉ネットワーク」などの
番組で活躍するNHK福祉ネットワーク・キャスター
町永俊雄氏による講演を行います。

NHK 福祉ネットワーク
キャスター 町永俊雄氏



パネルディスカッション

「認知症の方を地域で支える ために必要な医療とは」

コーディネーターに熊本大学大学院生命
科学研究部教授 池田学氏を迎え、行政・
医師・コメディカルのプロフェッショナル
によるパネルディスカッション。

熊本大学大学院
生命科学研究部教授 池田 学氏



お問い合わせ

認知症フォーラム in 熊本 2012 事務局

〒860-8522 熊本市世安町7番地 KKT ウェル館 1F (KKT エンタープライズ内)

TEL: 096-363-6655 (平日 9:30~18:00) FAX: 096-363-6676 E-mail: kkt-ep@kkt.co.jp

申込方法

郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号をご記入の上、上記事務局にハガキ・FAX または 電話・メールによりお申し込みください。

認知症フォーラム in 熊本 2012

長寿安心のくまもとづくりに向けて



1/14(土)

テーマ

医療

特別講演

「認知症が拓く新時代 ～共生をめざして～」

10:30~12:00

「認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らす」ということが、いわれています。認知症をめぐる最新の取り組みとは何か。そしてそのためには私達自身はどう考えればいいのか。

実は、認知症の課題は認知症だけに留まりません。若い世代も子育ての親にとっても「自分らしくイキイキと暮らす」ことに重なるのです。

認知症の取り組みは、これまでの社会のありようを根底から見直し、私達自身が「福祉の力」を発揮させる取り組みでもあるのです。

Profile 町永俊雄 (NHK 福祉ネットワーク・キャスター)

1947年東京都生まれ。64才。

1971年早稲田大学政経学部卒業後、NHK入社。

青森、大分、岡山などの赴任地を経て、東京勤務では、土地問題や、教育問題など社会問題を生活者の視点から取材。NHK特集やNHKスペシャルなどを制作。その後、「おはようジャーナル」「くらしのジャーナル」「教育トウデイ」「BS討論」などの情報番組のキャスター。

2004年4月からは「福祉ネットワーク」キャスター。福祉をテーマに「認知症」「うつ」「自殺対策」などのテーマの他、東日本大震災以降は、被災した要介護者の現実と課題を集中的に取り上げている。

「NHK認知症フォーラム」コーディネーター。



実践報告

「認知症疾患医療センター」からの報告

13:00~13:50

パネルディスカッション

「認知症の方を地域で支えるために必要な医療とは」

14:00~16:30

●医師

高橋 智氏(岩手医科大学准教授)

北村 ゆり氏(菜の花診療所(高知県))

●精神保健福祉士

柏木 一恵氏(浅香山病院(大阪府堺市)「認知症疾患医療センター」)

●行政

江口 満氏(熊本県長寿社会局長)

厚生労働省 精神・障害保健課



コーディネーター

池田 学氏

(熊本大学大学院
生命科学研究部教授)

熊本県と熊本大学の協働から生まれた独自の認知症対策「熊本モデル」

蒲島郁夫知事が知事として全国初の「認知症サポーター」となるなど、熊本県では、認知症対策に重点的に取り組んでいます。

その一環として、「認知症疾患医療センター」を県内10カ所に設置。熊本大学附属病院を基幹型センターとし、9カ所の医療機関を地域拠点型センターとする二層構造を形作る独自の体制は、「熊本モデル」と呼ばれ、全国から注目を集めています。

